

藤野地区における学校規模適正化の取組 説明会

令和7年（2025年）5月20日（火）
場所：藤の沢小学校 1階 屋内運動場



藤野地区における学校規模適正化の取組 説明会

令和7年（2025年）5月21日（水）

場所：藤野南小学校 1階 屋内運動場



札幌市教育委員会

Sapporo City Board of Education

- 1 学校規模適正化の取組の目的
- 2 藤野地区の取組案
- 3 これまでの検討経過
- 4 学校配置検討委員会の検討結果
- 5 今後の想定スケジュール

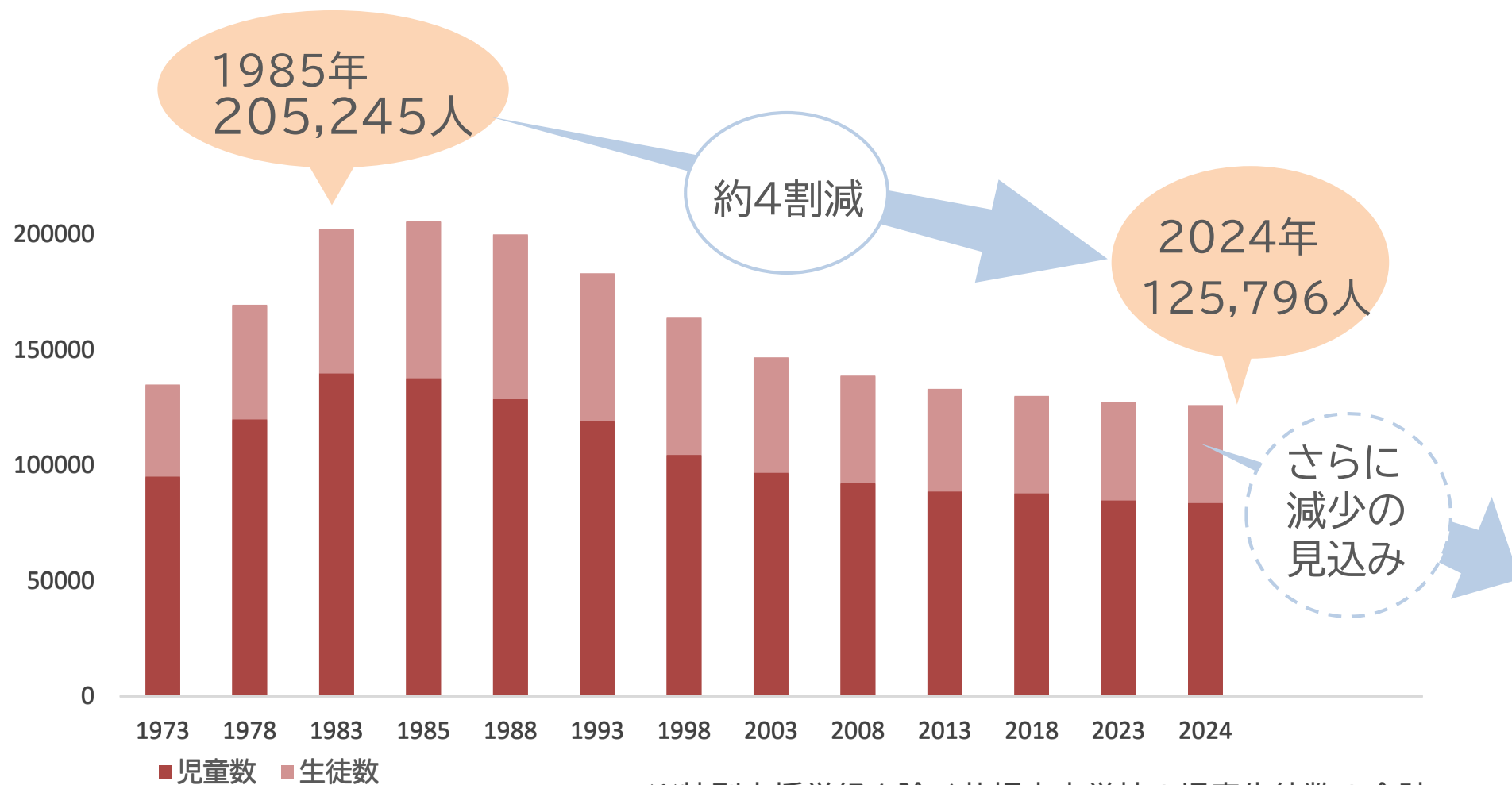


- 1 学校規模適正化の取組の目的
- 2 藤野地区の取組案
- 3 これまでの検討経過
- 4 学校配置検討委員会の検討結果
- 5 今後の想定スケジュール



1 学校規模適正化の取組の目的

札幌市の児童・生徒数の推移



※特別支援学級を除く札幌市立学校の児童生徒数の合計

1 学校規模適正化の取組の目的

札幌市における適正な学校規模

小学校

18～24学級（1 学年 3～4 学級）
少なくとも12学級以上（1 学年 2 学級以上）

中学校

12～18学級（1 学年 4～6 学級）
少なくとも 6 学級以上（1 学年 2 学級以上）

札幌市立小中学校の 「適正規模」設定の観点

- 効果的にクラス替えを実施できる規模
- 指導面の連携や、登下校時・緊急時における体制づくりが円滑に行える教職員体制の確保
- 一人の教員が複数教科を担当することのない教員数の確保(中学校)

など

- 1 学校規模適正化の取組の目的
- 2 藤野地区の取組案
- 3 これまでの検討経過
- 4 学校配置検討委員会の検討結果
- 5 今後の想定スケジュール



2 藤野地区の取組案

藤の沢小学校と藤野南小学校の概要

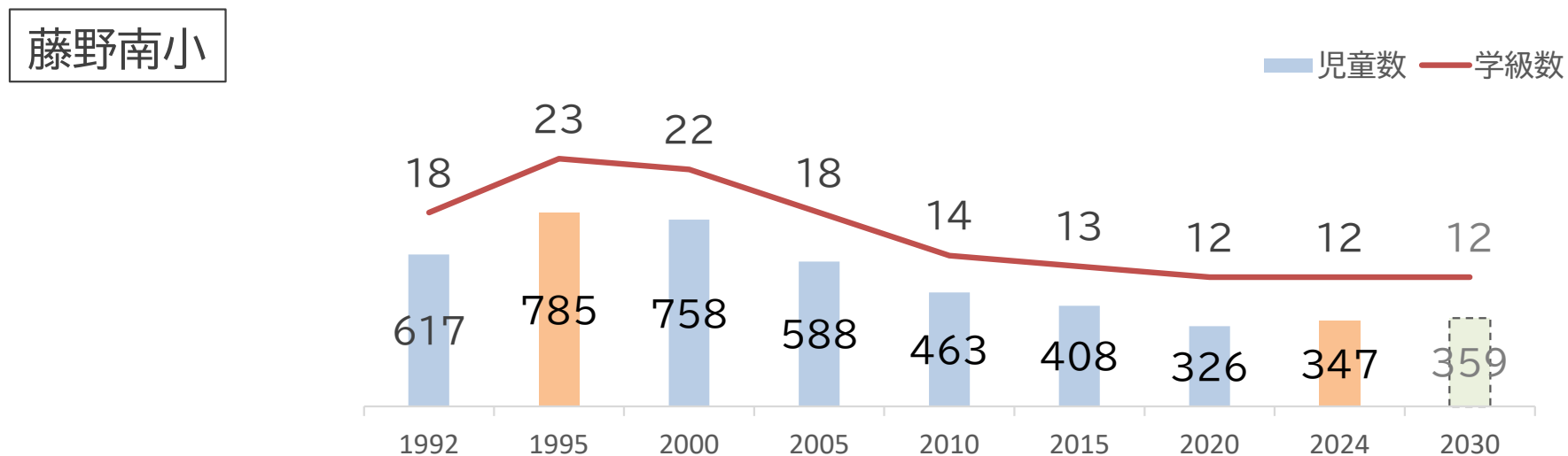
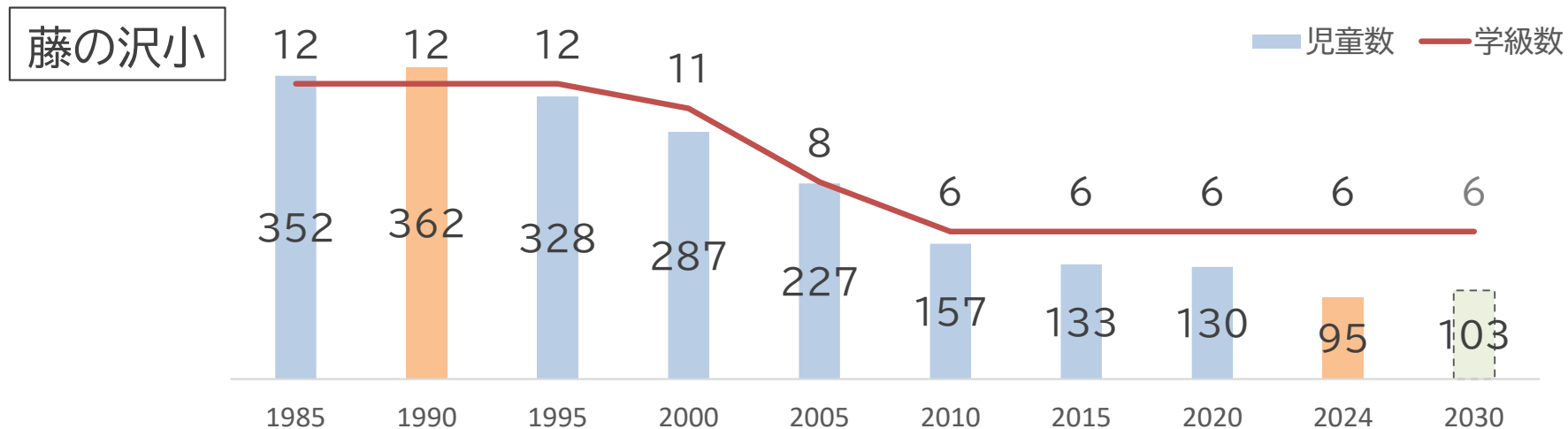
(2024年5月1日現在)

	藤の沢小学校	藤野南小学校
所在地	南区石山528番地	南区藤野4条6丁目
開校年次	1914年(大正3年)	1992年(平成4年)
児童数/学級数	95人/ 6 学級	347人/12学級
特別支援学級数	5 人/ 1 学級	16人/ 3 学級
職員数	14人	22人
校舎・屋内運動場 建築年 (※)	1986年(昭和61年)	1991年(平成3年)
校地面積	24,541㎡	17,925㎡

札幌市 「教育データ集2024」 より (※ 建築年のみ学校施設課調べ)

2 藤野地区の取組案

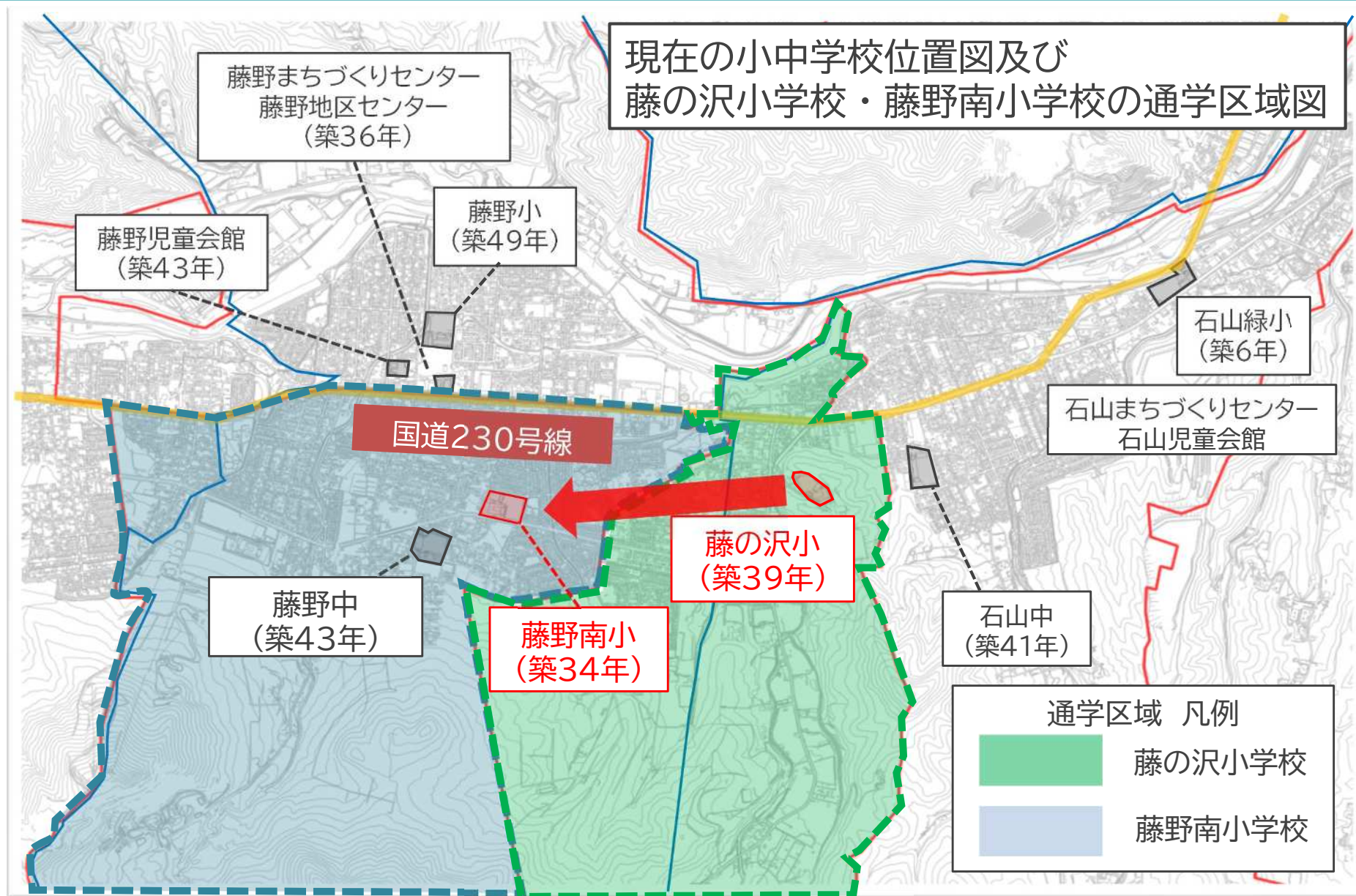
藤の沢小学校と藤野南小学校の児童数・学級数の推移及び推計値



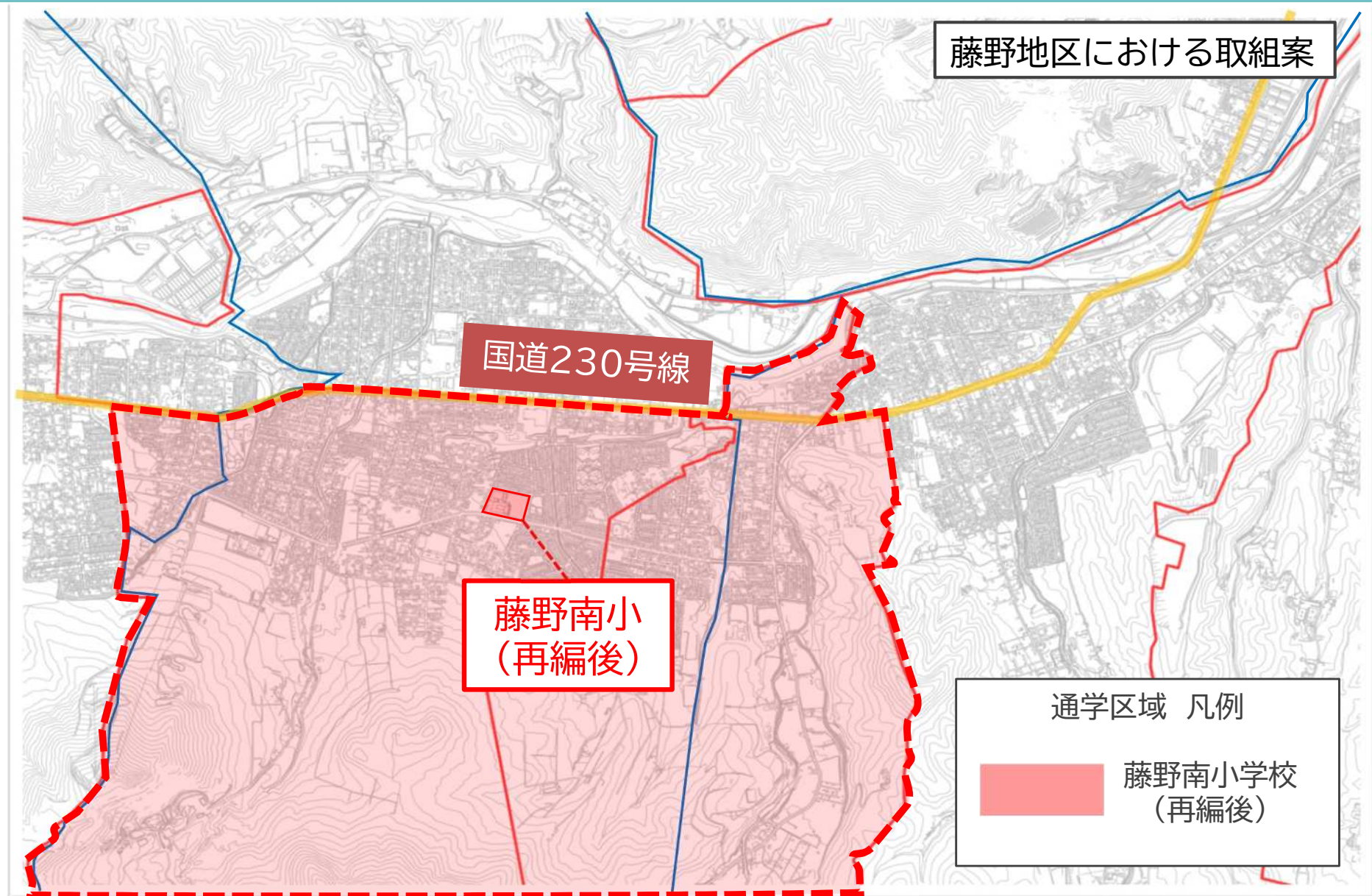
※特別支援学級を除く

※2030年は、住民基本台帳データに基づく推計値

2 藤野地区の取組案



2 藤野地区の取組案



- 1 学校規模適正化の取組の目的
- 2 藤野地区の取組案
- 3 これまでの検討経過
- 4 学校配置検討委員会の検討結果
- 5 今後の想定スケジュール

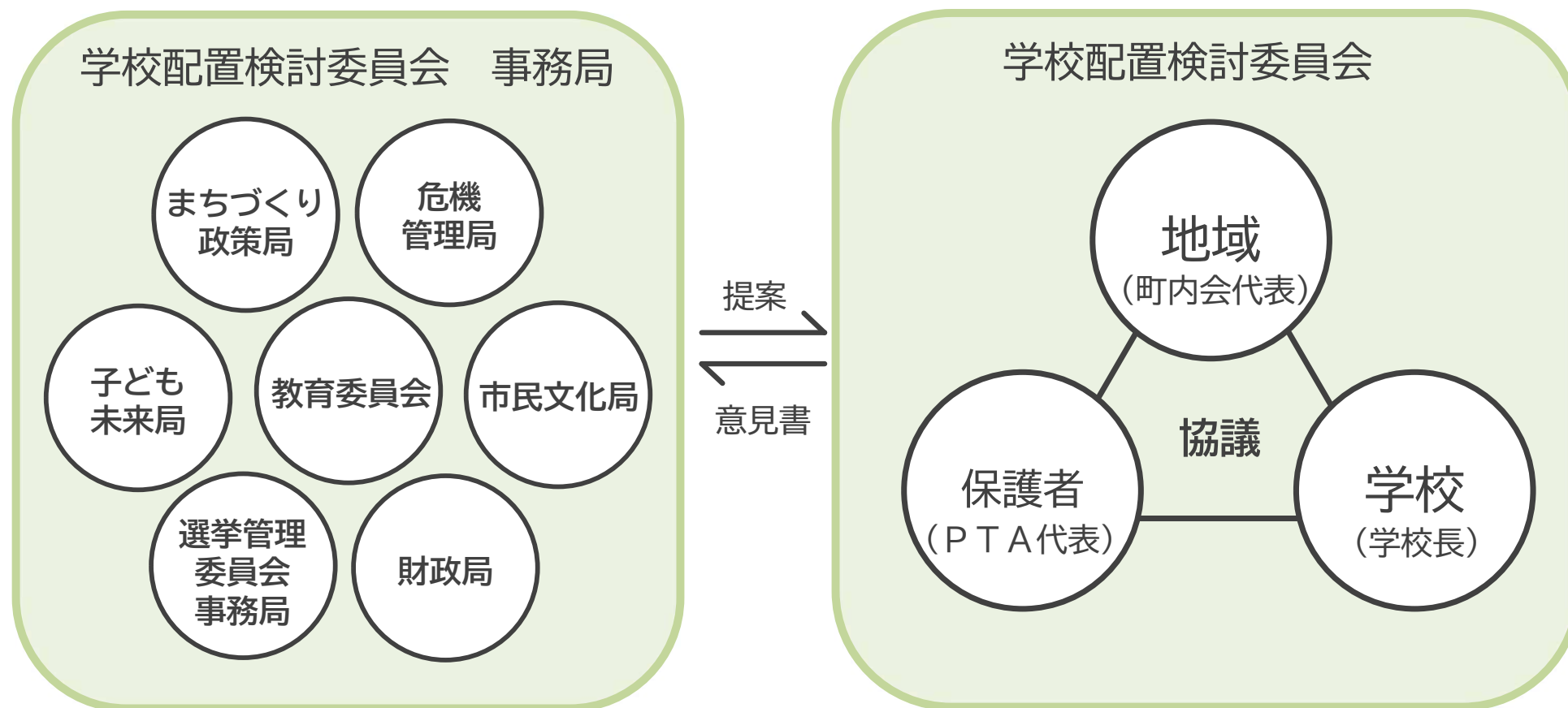


3 これまでの検討経過

開催日		検討経過
令和3年	11月9日	藤野地区町内会連合会 地域との意見交換（市教委・札幌市）①
令和4年	5月20日	藤の沢小PTA役員、学校との意見交換会（市教委）
	9月12日	藤野地区町内会連合会 地域との意見交換（市教委・札幌市）②
	10月11日	藤の沢小PTA役員、学校との意見交換会（市教委）
令和5年	2月3日	「藤野地区学校配置検討委員会」に関する住民説明会 ①
	2月4日	「藤野地区学校配置検討委員会」に関する住民説明会 ②
	3月6日	第1回 藤野地区 学校配置検討委員会
	6月5日	第2回 藤野地区 学校配置検討委員会
	9月11日	第3回 藤野地区 学校配置検討委員会
	12月14日	第4回 藤野地区 学校配置検討委員会
	3月1日	第5回 藤野地区 学校配置検討委員会
	6月6日	第6回 藤野地区 学校配置検討委員会
	9月10日	第7回 藤野地区 学校配置検討委員会
令和6年	12月10日	第8回 藤野地区 学校配置検討委員会
	2月26日	第9回 藤野地区 学校配置検討委員会 （協議終了）
	4月22日	藤野地区 学校配置検討委員会より意見書の提出

3 これまでの検討経過

学校配置検討委員会 体系図



3 これまでの検討経過

学校配置検討委員会での協議の様子



- 1 学校規模適正化の取組の目的
- 2 藤野地区の取組案
- 3 これまでの検討経過
- 4 学校配置検討委員会の検討結果
- 5 今後の想定スケジュール



4 検討結果

令和7年4月22日、
学校配置検討委員会の吉田代表委員から、
札幌市教育長に検討結果をまとめた意見書
が提出される。



▲手交式の様子

左:山根 教育長 右:吉田 代表委員

令和7年(2025年)4月22日

札幌市長 秋元 克広 様

札幌市教育長 山根 直樹 様

藤野地区学校配置検討委員会

代表委員 吉田 健治

「藤の沢小学校と藤野南小学校を中心とした学校施設の再編」に関する
意見書

記

1 藤野地区の小学校再編について

(1) 小学校再編の考え方

児童の教育環境の向上を図る観点から、藤野地区の藤の沢小学校と藤野南小学校を再編する。

(2) 小学校再編の実施方法

児童の通学距離や児童数の推移、学校敷地の面積、建築物の耐用年限等を考慮し、藤野南小学校校舎及び敷地を活用して再編する。

2 通学区域案等

小学校再編後の通学区域は、藤の沢小学校と藤野南小学校の通学区域を合せたものにする。

ただし、再編により通学距離が長くなる児童に配慮し、別表のとおり、石山緑小学校を選択できるよう指定変更区域を設定することを望む。

併せて、中学校進学時には、再編後の小学校の通学区域のうち石山中学校が指定校となる区域について、別表のとおり、再編後の小学校と距離の近い藤野中学校を選択できるよう指定変更区域を設定することを望む。

4 検討結果

1 藤野地区の小学校再編について

- 児童の教育環境の向上を図る観点から、藤野地区の藤の沢小学校と藤野南小学校を再編すること
- 児童の通学距離や児童数の推移、学校敷地の面積、建築物の耐用年限等を考慮し、現在の藤野南小学校敷地を活用して再編すること

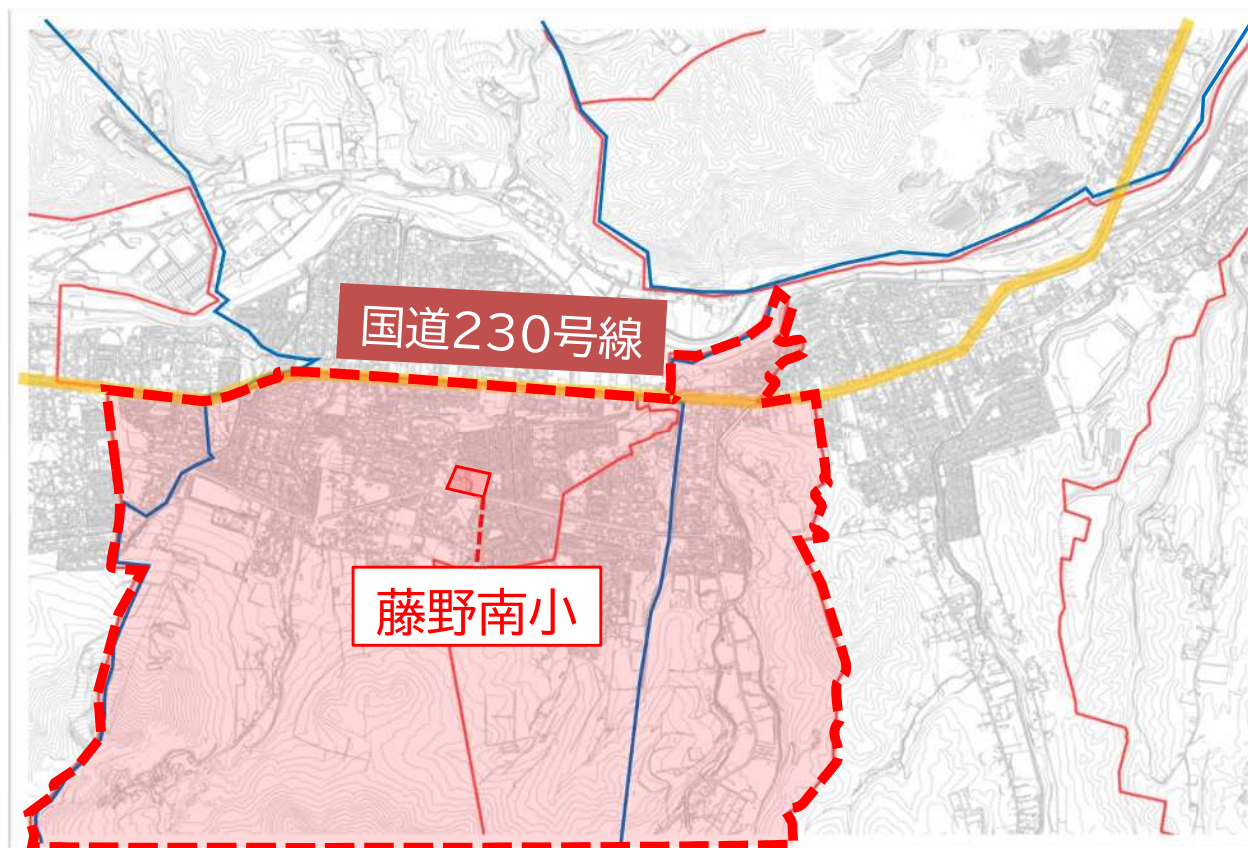
POINT

- ・ 取組案のとおりに進めるとともに、再編による児童数の推移に応じた対応を求める内容

4 検討結果

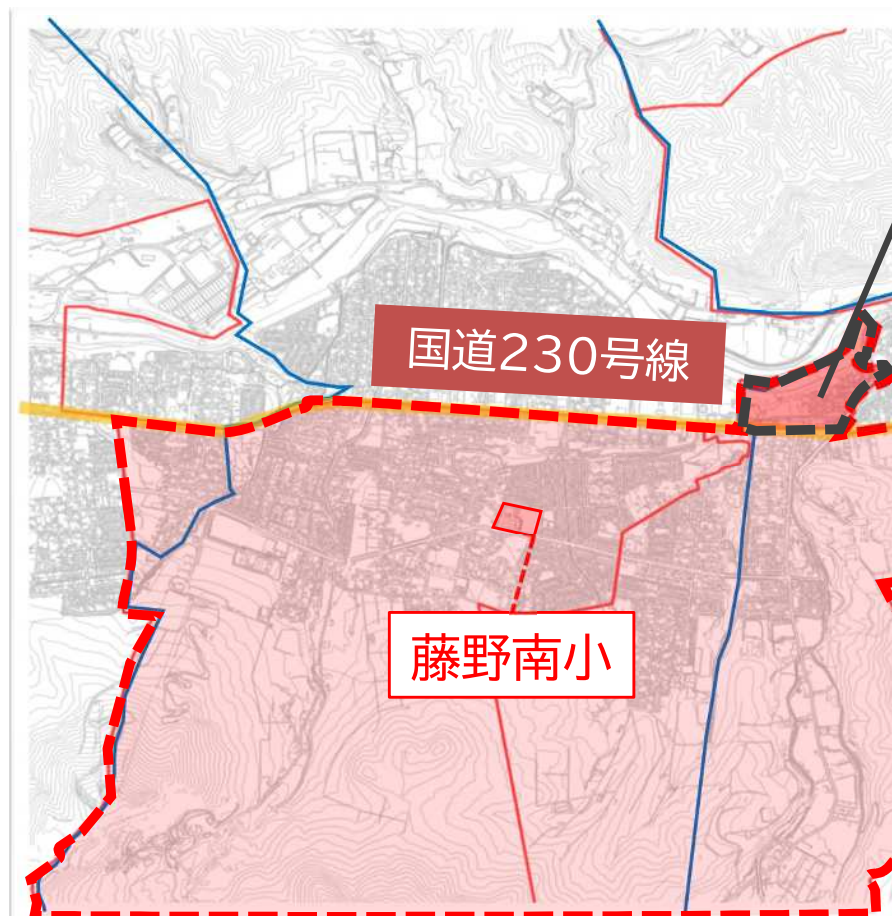
2 通学区域案

- 再編後の通学区域は、藤の沢小学校と藤野南小学校の現在の通学区域を合わせたものにする



4 検討結果

2 通学区域案



通学距離が2kmを超える地域(黒点線部)

⇒バス定期代の助成を実施(自己負担なし)

○藤野2条1丁目

○藤野2条2丁目

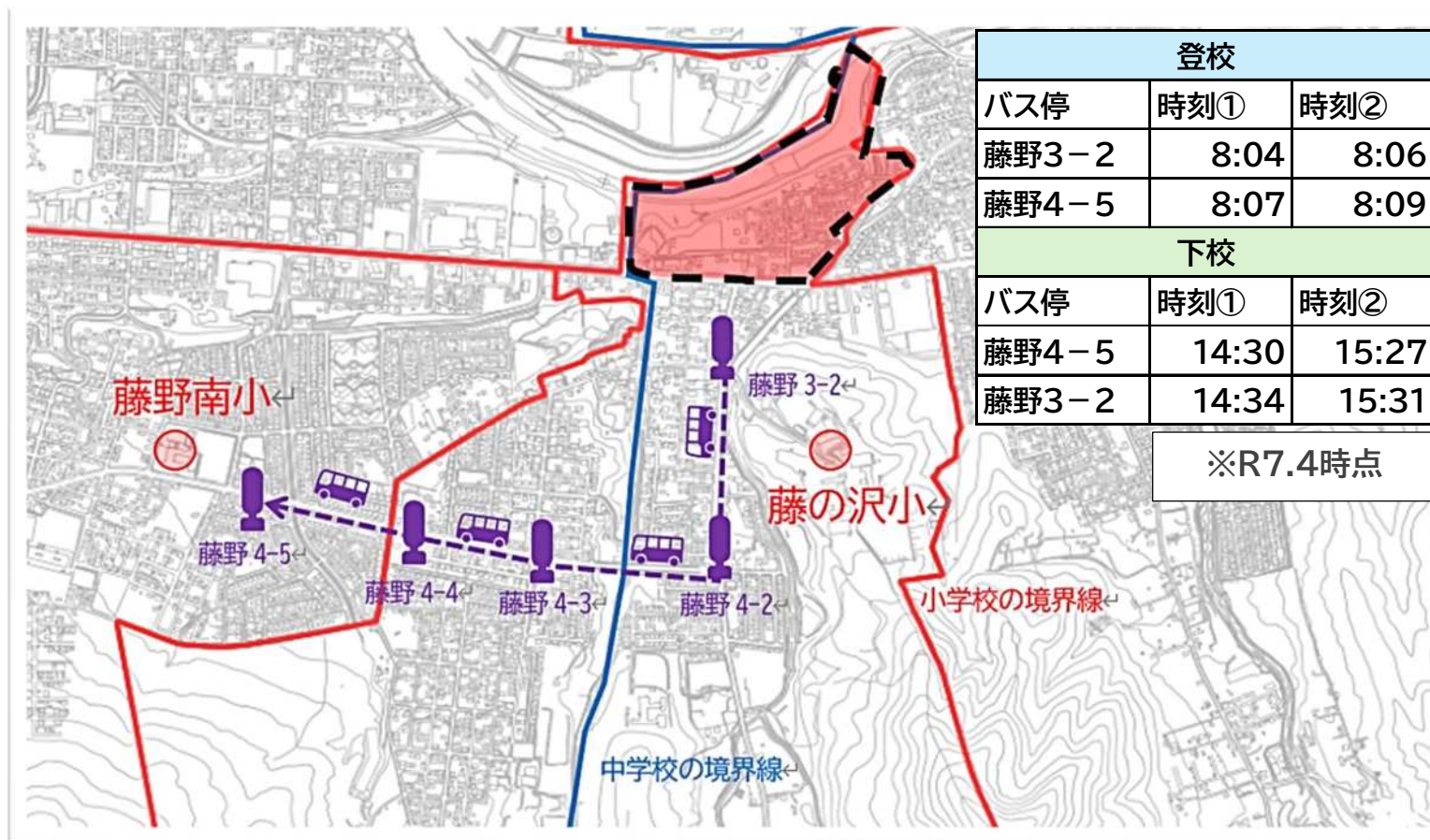
<通学距離2km未満の児童について>

⇒現在の藤の沢小学校通学区域内の
通学距離が2kmを超えない児童についても
路線バスによる通学を認める(自己負担)

4 検討結果

2 通学区域案

- 通学方法について



4 検討結果

2 通学区域案

- 再編により通学距離が長くなる児童に配慮し、石山緑小学校を選択できるようにすること
- 中学校進学時には、再編後の通学区域のうち石山中学校が指定校となる区域について、距離の近い藤野中学校を選択できるようにすること

指定変更区域の設定

- ・ 地域的な事情により、指定校のほかに別の学校を選択できる地域として設定するもの

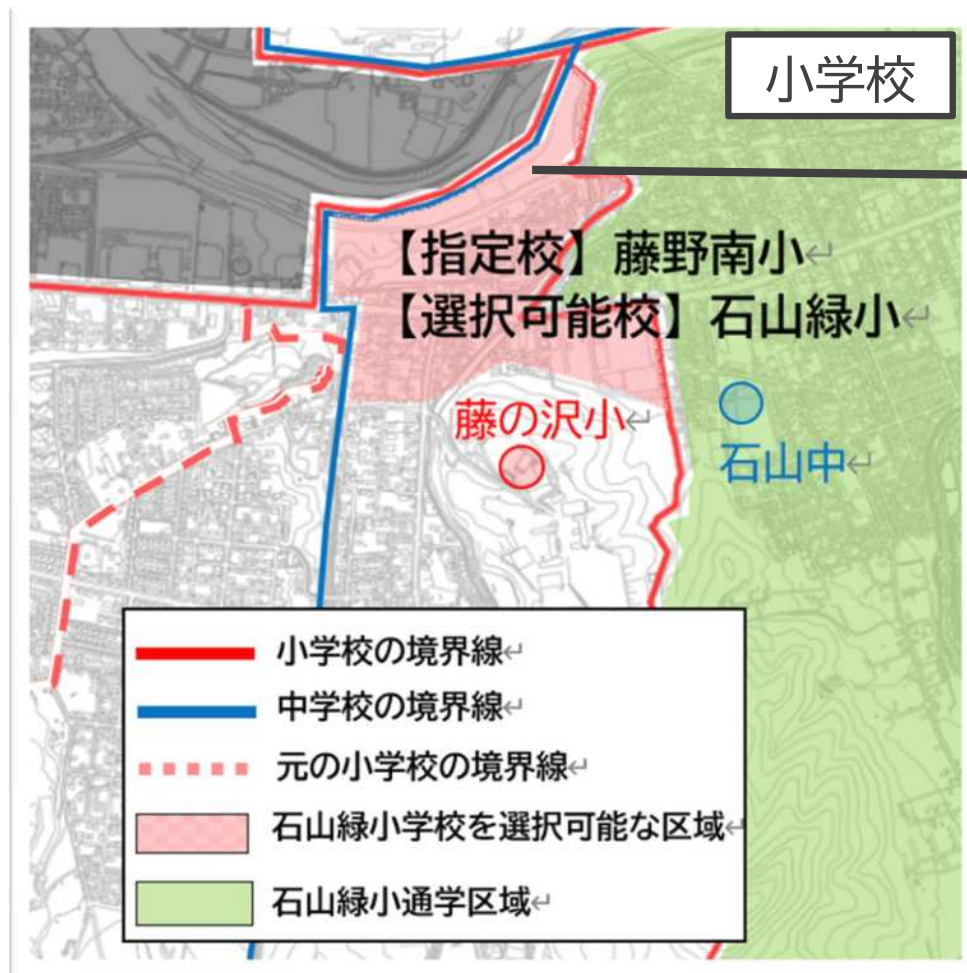
POINT

検討委員会では、「通学距離や児童の心情に配慮し、通学（進学）する学校を選択できる余地が残ると良い」という意見あり

4 検討結果

2 通学区域案

- 指定変更区域の対象区域について



対象区域

藤野2条1丁目～2条2丁目

藤野3条1丁目～3条2丁目

藤野番地(藤の沢小校区)

石山2条9丁目

石山緑小学校も選択可

4 検討結果

2 通学区域案

- 指定変更区域の対象区域について



対象区域

藤野2条1丁目～2条2丁目

藤野3条1丁目～3条2丁目

藤野4条1丁目～4条2丁目

藤野5条1丁目～5条2丁目

藤野6条1丁目～6条2丁目

藤野番地(石山中校区)

石山2条9丁目(藤の沢小校区)

藤野中学校も選択可

4 検討結果

3 通学安全に関する要望等

- 通学距離が長くなる児童や、新たにバス通学が見込まれる児童もいることから、学校や保護者、地域等は、これまで以上に連携を深め、地域全体の課題として除雪を含めた児童の通学安全に関する取組を充実させていくことが必要
- 札幌市と札幌市教育委員会は、これらの取組に協力するほか、バス事業者との協議等を含め児童が安全かつ円滑に通学できるよう十分配慮すること

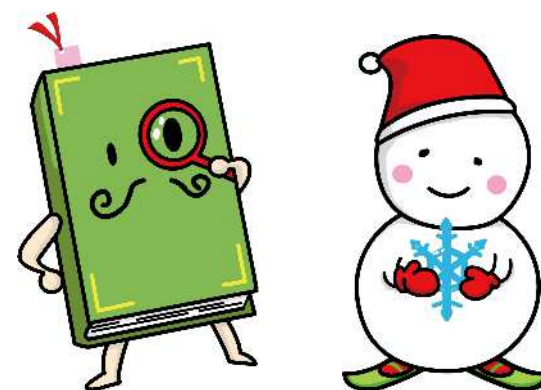
POINT

- ・ 今後、再編後の通学区域内的の危険箇所の確認・対策を検討（スクールゾーン実行委員会の活用など）
- ・ 現在、学校と地域、関係団体等で連携して行っている取組の活用
- ・ バスの車内アナウンスなどの検討

4 検討結果

4 その他の要望等

- 児童や保護者、学校間の交流事業等を実施するなどし、児童や保護者が安心して再編後の小学校における活動を行える環境を整えること
- 児童により良い教育環境を整えるため、教員の追加配置等に配慮すること
- 両校の特色ある教育内容やその歴史等に配慮しつつ、未来志向の「新しい学校づくり」を進めること。



4 検討結果

4 その他の要望等

- 過去の交流事業の様子 ※～ノホロの丘小学校 開校だより～から



＜体育館に全員集合＞

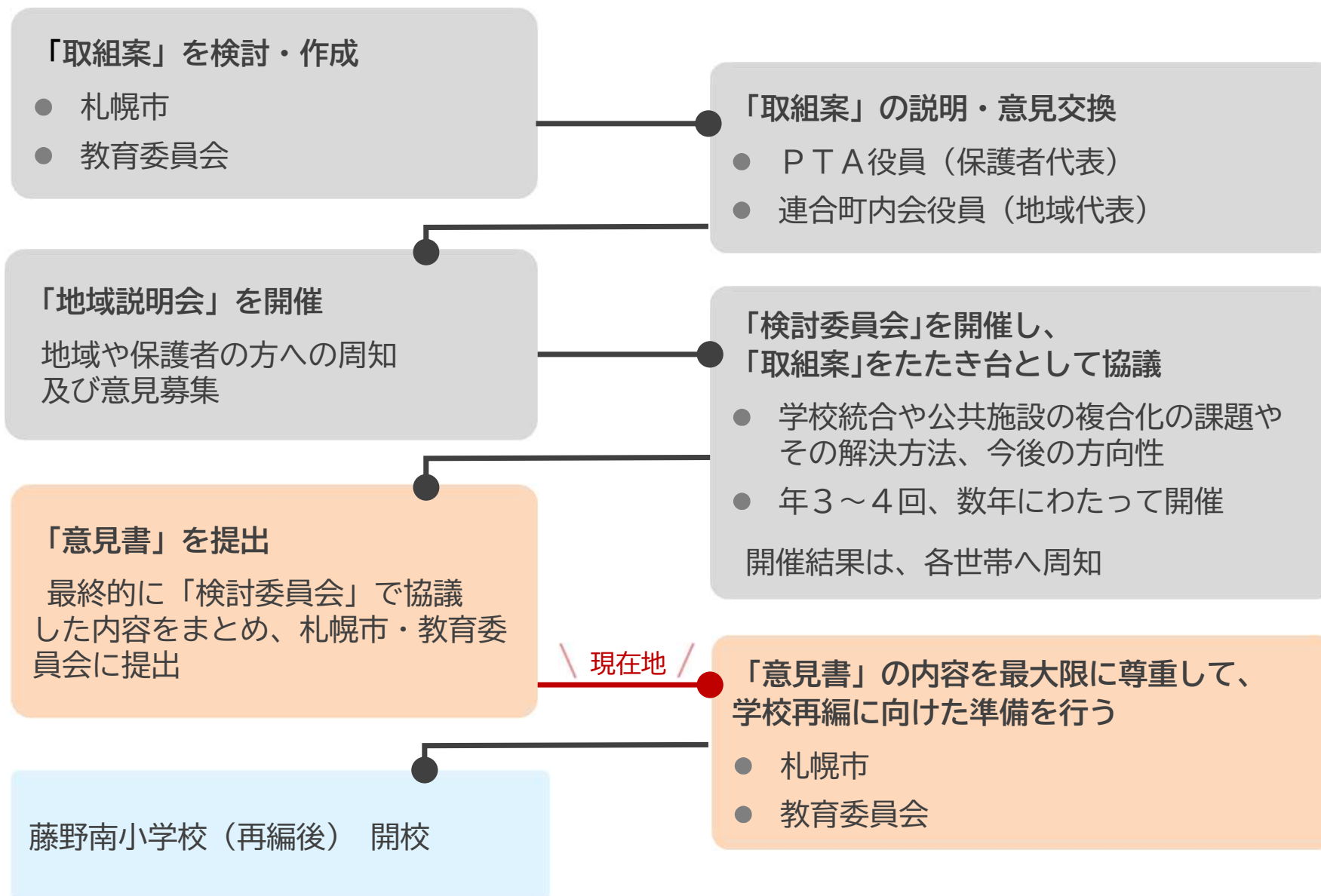


＜ゲームの様子＞

- 1 学校規模適正化の取組の目的
- 2 藤野地区の取組案
- 3 これまでの検討経過
- 4 学校配置検討委員会の検討結果
- 5 今後の想定スケジュール



5 今後の想定スケジュール



5 今後の想定スケジュール

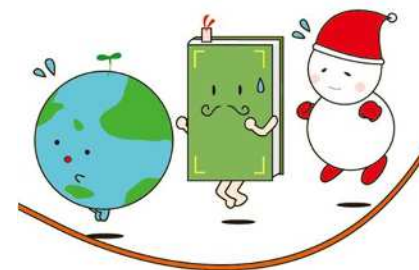
R7.夏頃～

R10.4[目標]

学校再編に向けた具体的な準備

- ・ 児童や教職員、保護者の事前交流に関する取組
- ・ スクールゾーン実行委員会を活用した再編校の通学安全に係る具体的な協議

開校



再編に向けて準備を進めます

今後、札幌市・札幌市教育委員会では、子どもたちの良好な教育環境を整えるため、藤の沢小学校・藤野南小学校の再編に向けて準備を進めてまいります。



今後、通学安全などの検討に際しては、学校と共に、地域・保護者を始めとする皆さまにご協力を賜りながら進めてまいりたいと存じます。何とぞよろしくお願いいたします。

開校の時期やその他の各事項の検討経過につきましては、引き続き、レターニュース、ウェブページなどで地域・保護者の皆さまへお知らせしてまいります。

札幌市教育委員会 総務部 学校施設課 学校配置マネジメント担当
TEL:011-211-3836 FAX:011-211-3837
HP:<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/fujino.html>

